**豊かな心と生きる力をもち、自ら考え、やりぬく小津の子** 小津小学校学校だより NO 5





おもいを仮え合う子 っつける子 つよくたくきしい子 こころあたたかり

## 夏休みの経験を2学期に活かそう!

夏休みが終わり、9月1日から2学期が始まりました。子どもたちの明るい笑顔と元気な歓声が学校に戻ってきました。5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更されたことから、この夏休みは久しぶりに大人数で集まったり、旅行に出かけたりした人が多かったようです。児童たちの会話からも、なつかしい遠方の親戚と会った様子や、海や山に出かけて活動的に過ごした様子がうかがえました。ホームページでも紹介しま

したが、8月6日に開催された「**平和を誓うつど**り」では、本校6年生児童3人が参加し、千羽鶴を献鶴しました。6年生は11月に修学旅行で広島を訪れ、**戦争と平和につりての学習**をさらに深める予定です。また、地域でのラジオ体操では高学年児童がリーダーとして前に出て手本をみせる姿を見て、頼もしく感じました。地域や家族の一員として役割を果たすことはとても大切です。夏休みの貴重な体験や継続してきたことを、今後の学校生活に活かしてほしいです。



「平和を誓うつどい」

さて、この夏休みは、日本でも世界でもスポーツの大会がたくさん開かれていました。オーストラリア・ニュージーランドでは女子サッカーワールドカップ、ハンガリー・ブダペストでは世界陸上が開催されました。日本では、甲子園球場で高校野球が、福岡県では世界水泳が開催されていました。そして、今現在、男子バスケットボールワールドカップが沖縄県(日本)・インドネシア・フィリピンの共催で開催されています。先日この大会で、日本男子バスケットボールチームは、世界ランキングでは格上のフィンランドチームやベネズエラチームとの試合で歴史的な逆転勝利をおさめました。最終戦もカーボベルデチームに勝利してアジア最上位となり、来年のパリ五輪出場権を獲得し48年ぶりの五輪自力出場を決めました。素晴らしいです。この日本チームのヘッドコーチをつとめてい

るのが、トム・ホーバスさんです。

トムさんは、2年前の東京オリンピックのときは、日本女子バスケットボールチームのヘッドコーチとして、日本チームを銀メダルに導き世界を驚かせた人です。トムさんがチームを指導するときに一番大切にしていることは、

「believe (ビリース)」、日本語でいうと「信じる」ことだそうです。「自分の力を信じること」「チームメイトを信じること」「自分たちのバスケットを信じること」。自分の力を

信じることで一人ひとりが強くなり、一人ひとりが強くなることでチームが強くなる、そのためにチーム内での個人の役割を明確にし、毎日の練習に一生懸命取り組むそうです。

2 学期は、「運動会」「校外学習」等の大きな行事が控えています。自分を信じ、学級の 友だちを信じ、自分たちで考え、全力で取り組みましょう。そして、力を合わせてお互い に信頼し合える学級・小津小学校を作りましょう。